

問1	家計、企業、政府の三つの経済主体が互いに結びついている経済の循環において、政府が家計や企業から徴収した税金を財源として、国民に提供する教育、警察、消防などの活動を総称して何と呼びますか。（2016年 三重県公立入試 類似）			
	1. 所得の再分配	2. 自主財源	3. 社会保障給付	4. 公共サービス
問2	世界の農作物の生産と輸出に関する統計から読み取れる特徴について、適切な説明はどれですか。なお、対象とする作物の一方は「アメリカ合衆国が生産量の3割超、輸出量の約4割を占める作物」であり、もう一方は「中国が生産量1位だが、ロシアが輸出量1位である作物（小麦）」であるものとしす。（2020年 三重県公立入試 類似）			
	1. とうもろこしは、アメリカ合衆国が生産・輸出ともに大きなシェアを持っており、主に主食としてアジアへ輸出される。	2. 小麦は、自給的な性格が強い中国やインドでの生産が多いが、輸出はロシアや北米諸国が中心となっている。	3. 小麦の輸出量でロシアが首位なのは、ロシアの生産量が中国やインドを大きく上回っているからである。	4. ブラジルは、小麦とうもろこしの両方において、世界最大の生産量と輸出量を誇っている。
問3	江戸幕府が大名に対し、江戸と領地を一年おきに往来させる参勤交代を武家諸法度で制度化した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 三重県公立入試 類似）			
	1. 大名に多額の費用を負担させ、幕府に反抗する経済的な余力を奪うため	2. 江戸の商業を活性化させるため、全国の特産物を江戸に集積させることを義務付けるため	3. 大名の領地における年貢の徴収を効率化し、幕府の財政を安定させるため	4. 大名が海外の勢力と結びつくのを防ぐため、領地への立ち入りを厳しく制限するため
問4	明治政府が岩倉使節団を派遣するなどして取り組んだ「条約改正」の主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 三重県公立入試 類似）			
	1. キリスト教の布教を全国で公認し、欧米諸国からの経済援助を優先的に受けられるようにすること	2. 江戸幕府が行っていた朱印船貿易を保護し、東南アジア諸国との経済的な結びつきを強めること	3. 軍備を大幅に縮小することで国際的な信頼を得て、国際連盟への加盟を認めさせること	4. 領事裁判権の撤廃と、関税自主権の完全な回復を実現して欧米諸国と対等な関係を築くこと
問5	日本の農産物の統計において、茶の生産量は全国第2位（34%）ですが、生産額では全国の31%を占めて第1位（2019年時点）となっている都道府県はどこですか。（2022年 三重県公立入試 類似）			
	1. 千葉県	2. 静岡県	3. 鹿児島県	4. 三重県
問6	東京を中心として、中心からの距離と方位が正しく表される図法を用いた地図があります。この地図において、中心から最も遠い地点（対蹠点）はどのように表現されますか。最も適切な説明を選んでください。（2026年 三重県公立入試 類似）			
	1. 地図の中心から最短距離で結ばれる一点として表現される	2. 地図の外周となる円の全体として表現される	3. 地図の上下にある直線の端として表現される	4. 面積が正しく調整された図形の中央に表現される
問7	都道府県別の農林水産物産出額の統計において、米の産出額が1078億円と突出して多く、一方で果実が89億円、漁業が27億円となっている都道府県として、最も適当なものを次から選びなさい。（2024年 三重県公立入試 類似）			
	1. 秋田県	2. 宮城県	3. 和歌山県	4. 三重県
問8	1980年代後半、日本の実質経済成長率が平均5.1パーセントを記録し「バブル経済」と呼ばれた時期の、国の一般会計歳入における財政状況の説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 三重県公立入試 類似）			
	1. 深刻な不況によって税収が激減したため、歳入の半分以上を特例公債（赤字国債）の発行で賄っていた。	2. 活発な経済活動によって税収が歳入全体の8割を超え、公債金（国の借金）への依存が1割未満に抑えられていた。	3. 地価や株価の下落が続いたことで法人税収が伸び悩み、公債金と税収の割合がほぼ同等になっていた。	4. 高度経済成長期の終焉を受けて、社会保障関係費を賄うために消費税が歳入の最大項目となっていた。
問9	日本の国家機関が持つ権限のうち、「衆参両議院による国政調査権の行使」や「弾劾裁判所の設置」、「憲法改正の発議」は国会の重要な役割です。これらに対し、天皇の国事行為において「内閣の助言と承認」という仕組みがとられている憲法上の理由として、最も適切なものはどれですか。（2026年 三重県公立入試 類似）			
	1. 天皇が国会の議決なしに憲法を改正できるよう、内閣が手続きを簡略化するため	2. 天皇が最高裁判所の裁判官と同様の権限を持ち、内閣の活動を監視しやすくするため	3. 天皇を政治的な争いから切り離し、内閣が政治的責任を負うことで象徴としての地位を守るため	4. 天皇が自らの判断で国政を主導できるようにし、内閣と協力して強力な政治を行うため
問10	1960年代に日本で最初の大規模な開発が行われた千里ニュータウンでは、一時期人口が減少しましたが、近年では再び増加に転じる地区が見られます。この人口動態の背景にある状況として最も適切な説明を選んでください。（2026年 三重県公立入試 類似）			
	1. 老朽化した公団住宅などの建て替えや再開発が行われ、高層マンションの建設などによって新たな子育て世帯が流入したため。	2. 都心部での地価高騰を避けるため、一戸建て住宅を希望する現役世代が、かつてのような大規模な宅地造成を求めて移住したため。	3. ニュータウン内の広大な跡地に大規模な工場や物流拠点が誘致され、そこで働く労働者のための社宅が次々と建設されたため。	4. 一世帯あたりの平均人員が増加したことにより、住宅の数は変わらないものの、そこに住む居住者の総数が大幅に増えたため。
問11	アメリカ合衆国で行われている、広大な農地で大型機械を利用する「企業的農業」の特徴について、生産性の観点から正しく説明しているものはどれですか。（2026年 三重県公立入試 類似）			
	1. 農地の面積に対して従事者が非常に多いため、労働生産性と土地生産性の両方が低い。	2. 労働者1人あたりの生産量（労働生産性）は低いが、単位面積あたりの収穫量（土地生産性）は高い。	3. 広大な土地に大量の労働力を投入するため、労働生産性と土地生産性の両方が極めて高い。	4. 労働者1人あたりの生産量（労働生産性）は高いが、単位面積あたりの収穫量（土地生産性）は低い。
問12	国の政治の基本的なあり方を定める法である憲法において、その内容を「政治を行う権力を制限し、国民の基本的人権を保障する」という仕組みとして捉える考え方を何と呼びますか。（2023年 三重県公立入試 類似）			
	1. 法治主義	2. 全体主義	3. 民主主義	4. 立憲主義
問13	江戸時代初期、徳川家康が海外との貿易を奨励するために、特定の商人に与えた海外渡航の許可証と、それをういた貿易の名称として適切なものはどれですか。（2024年 三重県公立入試 類似）			
	1. 奉書による奉書船貿易	2. 領印による南蛮貿易	3. 朱印状による朱印船貿易	4. 勘合による勘合貿易

答え合わせ・解説

問1	答え 4 公共サービス	政府は、家計や企業が納めた税金を主な財源として、個人や民間企業では提供することが難しいサービスを国民に提供しています。これには警察や消防、教育、医療、福祉などが含まれ、国民が安全で豊かな生活を送るために不可欠な役割を果たしています。
問2	答え 2 小麦は、自給的な性格が強い中国やインドでの生産が多いが、輸出はロシアや北米諸国が中心となっている。	生産量と輸出量の統計が一致しないのは、その国における国内消費の規模が関わっているためです。中国やインドは人口が非常に多く、生産された小麦の多くが自国で消費されます。一方、ロシアやアメリカ、カナダは人口に対して生産量が極めて多いため、世界的な輸出拠点となっています。ちなみに、アメリカが生産・輸出とともに圧倒的なシェアを持つ作物は、主に飼料用として利用されるといっても過言ではありません。
問3	答え 1 大名に多額の費用を負担させ、幕府に反抗する経済的な余力を奪うため	参勤交代は、大名の妻子を人質として江戸に住まわせるだけでなく、江戸への往復にかかる莫大な旅費や、江戸での滞在費を大名に負担させる仕組みでした。これにより、諸大名の財政を圧迫して軍事を蓄えられないようにし、幕府に対する反乱を未然に防ぐという政治的・経済的な統制の狙いがありました。
問4	答え 4 領事裁判権の撤廃と、関税自主権の完全な回復を実現して欧米諸国と対等な関係を築くこと	明治政府にとって、江戸幕府が欧米諸国と結んだ不平等条約を改正することは、国家の独立と近代化を象徴する最大の課題でした。具体的には、外国人が日本で犯罪を犯しても日本の法律で裁くことができない領事裁判権（治外法権）をなくすことと、日本が輸出品や輸入品の税率を自由に決められない状態を解消する関税自主権の回復が主な目的でした。
問5	答え 3 鹿児島県	茶の生産において、かつては静岡県が生産量・生産額ともに圧倒的な首位でしたが、近年は大規模な機械化が進んだ地域が台頭しています。特に、シラス台地などの平坦な土地を利用して効率的な生産を行い、早期収穫が可能な品種（新茶）をいち早く出荷することで、生産額において全国トップクラスに成長したのがこの県の特徴です。
問6	答え 2 地図の外周となる円の全体として表現される	正距方位図法では、図の中心から任意の点までの距離と方位が正しく表現されます。地球は球体であるため、ある地点から最も遠い場所（対蹠点）は一点しか存在しませんが、この図法では中心からすべての方向に最大距離（約2万km）を進んだ地点が地図の縁にあたるため、外周の円全体がその一点を表すことになります。メルカトル図法などの他の図法とは異なり、航空路（大圏航路）を確認するのに適した特性を持っています。
問7	答え 1 秋田県	東北地方の日本海側に位置する秋田県は、広大な平野や盆地、夏場の長い日照時間を活かした稲作が非常に盛んな地域です。提示された統計において米の産出額が1000億円を超えている点は、全国有数の「米どころ」としての特徴を明確に示しています。他の選択肢の和歌山県は果実、三重県や宮城県は漁業の比重がより高い傾向にあります。
問8	答え 2 活発な経済活動によって税収が歳入全体の8割を超え、公債金（国の借金）への依存が1割未満に抑えられていた。	1980年代後半のバブル経済期には、好景気を背景に企業利益や個人所得が増大し、法人税や所得税などの税収が大幅に増加しました。そのため、国の一般会計歳入において税収が占める割合が非常に高くなり、公債金の発行を抑制することができました。1990年代以降の低成長期や、現代の公債金依存度が高い財政状況とは大きく異なる、当時の好景気を象徴する構造です。
問9	答え 3 天皇を政治的な争いから切り離し、内閣が政治的責任を負うことで象徴としての地位を守るため	日本国憲法における天皇は、主権者である国民の総意に基づく「象徴」であり、政治的な実権を持ちません。国事行為に内閣の助言と承認を義務付けることで、天皇が直接政治に関与することを防ぐとともに、その行為から生じる責任をすべて内閣が引き受けるように設計されています。これにより、天皇の象徴としての立場が維持されています。
問10	答え 1 老朽化した公団住宅などの建て替えや再開発が行われ、高層マンションの建設などによって新たな子育て世帯が流入したため。	千里ニュータウンなどの初期のニュータウンでは、入居者の高齢化や子どもの独立によって一時的に人口が減少する「オールドタウン化」が課題となりました。しかし、2000年代以降、老朽化した団地の建て替えや再開発によって利便性の高いマンションが供給されたことで、再び若い世代の流入が始まり、人口がV字回復する現象が見られます。
問11	答え 4 労働者1人あたりの生産量（労働生産性）は高いが、単位面積あたりの収穫量（土地生産性）は低い。	企業的農業は、少人数で広大な土地を経営するため、大型機械による効率化が進んでおり、労働者1人あたりの生産量（労働生産性）が非常に高いのが最大の特徴です。一方で、1ヘクタールあたりの収穫量（土地生産性）に注目すると、細かな手入れを行う集約的な農業に比べて低くなる傾向があります。これは土地の広さを活かして「薄く広く」生産しているためです。
問12	答え 4 立憲主義	憲法は、国家権力が国民の自由や権利を不当に侵害しないよう、その権力を拘束し、制限を加えるために存在します。このように、憲法によって権力をコントロールし、人権を守るという近代民主政治の根本的な原理を立憲主義といいます。
問13	答え 3 朱印状による朱印船貿易	徳川家康は、幕府の権威を背景に海外貿易を拡大させるため、西国大名や有力な商人に「朱印状」という渡航許可証を与えました。これを持った船による貿易を朱印船貿易と呼び、東南アジア各地には日本人が移り住んだ日本町が形成されました。一方、勘合貿易は室町時代の足利義満による日明貿易の形式であり、奉書船貿易は朱印船貿易がさらに制限された段階のものを指します。